

祝成人 身心ともに成人となれ

平成28年成人式

成人式が、1月2日、あしびの郷・ちなにおいて行われました。式典には、男性34名、女性31名、計65名が出席し、会場では、新成人同士が久しぶりの再会に喜ぶ姿や、家族や友人らと写真撮影をおこなう様子などが見られました。

式典は、武雅人さん（住吉）と上村優奈さん（上平川）の司

会進行のもと、あでやかな振り袖や袴姿の新成人者の入場から始まり、続いて祝いの舞『御前風』でオープニングが飾られました。

平安正盛町長は式辞で、古代ローマの哲学者セネカの「人生の短さ」という著作を例にあげ、「これから迎えるであろう歳月を一日いちにち大切にされて、丁寧に、実り豊かに生きてくださるようお願いしています」と述べました。

また、豊島実文教育長は、

「これから先、大人の社会ではいろいろな苦難や誘惑があると思いますが、それらに負けないで有意義な人生を送って欲しいと願います。」とあいさつを述べ、滋賀県にある月心寺に伝わる詩を贈りました。

このあと、成人代表あいさつやアトラクション、町民憲章朗読などが行われ、新成人者は、それぞれの決意を新たにしていました。

成人者対象者数

校 区	男	女	計
知名中学校区	22	22	44
田皆中学校区	14	10	24
上記以外	9	3	12
合 計	45	35	80



新成人代表あいさつ
福田 美里さん（正名）

※一部抜粋

本日は、私たちのために盛大な式典を開いていただき誠にありがとうございます。平安町長を始めご来賓の方々、ご出席の皆さまにお祝いと激励の言葉をかけてもらい感激で胸がいっぱいです。島にいるころは、「早く島から出たい」「都会が羨ましい」といつも思っていました。島から出て分かったこと、感じたことはたくさんありました。それは、家族の大切さ、一人暮らしの寂しさ、家事の大変さ、島の友達のあたたかさや自然の大切さです。今まで当たり前だと思っていたことの一つ一つが島や自分を支えてくれる人達のおかげだったということに気付かされ、毎日のように泣いていたことのように感じます。私たちがこれから一步を踏み出す社会では厳しくつらい事が多くあると思います。しかし、不安や恐怖に立ち向かっていくために、島の文化、伝統や精神を受け継ぎながら、私たち一人ひとりが責任を持ち、自分らしく充実した人生を送れるように日々精進します。その過程で、時には悩み、失敗することもあるかもしれませんが。そのときは、手を差し伸べ温かいご指導を下さるようお願いいたします。

今日、この日を無事に迎えることができたのも、私たちを大切に育て、励ましてくださった家族や先生方、地域の方々のおかげです。深く感謝いたします。以上で新成人代表の言葉とさせていただきます。



新成人代表あいさつ
吉近 健生さん（久志 隼）

※一部抜粋

本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を開いてくださり誠にありがとうございます。平安町長を始め、ご来賓の方々、ご出席の皆さまにお祝いと激励の言葉をかけていただき感激で胸がいっぱいです。新成人一同を代表して心よりお礼申し上げます。小学校、中学校、高校でのご指導してくださった先生方、ありがとうございます。良いことをしたときは褒め、悪いことをしたときはしっかりと叱ってくださいました。たくさん先生の先生との出会い、様々な言葉を頂きました。そのすべてが自分の人生における糧となっています。本当にありがとうございます。そして、沖永良部島で出会ったたくさんの人たちに感謝したいと思っています。これから歩んでいく道には様々な困難があると思いますが、この感謝の気持ちを胸に刻み、エラブで得たたくさんさんの経験を最大限に活かしていきます。そして、自分の選んだ道を信じ、熟慮精進の精神で精一杯頑張ろうと思います。私たちの中には、すでに社会人として働いている者もいれば、学業を継続している者もいます。これからは成人として社会人の仲間入りをさせていただきます。どうか今後も皆さま方のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。